

## 第32回 日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会 栃木大会 ～参加報告～

2024年6月22日(土)・23日(日)の2日間にわたり、ライトキューブ宇都宮において、第32回日本社会福祉士全国大会・社会福祉士学会(栃木大会)が開催されました。新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたこともあり大会には全国各地から会員をはじめ福祉関係者など約1,000人の参加がありました。

大会では大会テーマを「これからの地域共生社会を担う社会福祉士としての挑戦～いちご一会をつなぎ未来を描いてゆく～」とし、我々社会福祉士が地域共生社会のなか様々な関係を超越し、社会を築いていかねなければならないと実感しました。

また、基調講演では、同志社大学名誉教授の上野谷加代子先生による「だれのための何のための地域共生社会の創造か～社会福祉士の使命と役割を問う～」をテーマにお話がありました。上野谷先生の流暢な関西弁のお話に引き込まれ「連携・協働の場」として先生の実践を通じて大きな気づきを得られることができました。

1日目の終了後の懇談会では「ごめんね～ごめんね～」でお馴染みのU字工事のお二人が特別ゲストとして登場！会場はさらに大盛り上がり！！宇都宮餃子や栃木県の地元料理・地酒を堪能しながら他県の社会福祉士の方々とも交流ができ、実のある楽しい時間を過ごすことが出来ました。

翌日の分科会には自主企画シンポジウム「都道府県災害派遣福祉チームにおける社会福祉士の役割と活動課題～令和6年能登半島地震の広域派遣支援活動を通して～」に参加しました。誰もが新しい年の平穏と多幸を願う元日にあのような大地震が起こるとは思っていなかったと思います。社会福祉士の一員として行動に移さなければと考えさせられました。

さらに、大会最後の基調講演では高橋昭彦先生から医療的ケアが必要な子どもたちの話があり、本人のみならず「きょうだいの支援の大切さ」に相談支援専門員として感銘を受けました。

最後に、各講演で他県の社会福祉士と交流を通して、社会福祉士は人々の生活を支援するソーシャルワークを担う専門職として、人々が暮らす地域に根ざした働きかけが必要であると感じました。その為には資質向上を目指し自己研鑽に努めなければならないことを改めて気付かされた大会でした。

報告者：岡野 和弘(利根町社会福祉協議会)

### －もくじ－

- 栃木大会～参加報告～……………1
- 新役員のご挨拶……………2～3
- 各ブロックの活動および役員の紹介……………4～5
- 研修事業部からのお知らせ……………6
- ぱあとなあいばらきからのお知らせ……………7
- 事務局からのお知らせ……………8

### －茨城県社会福祉士会 NEWS NO.70－

発行 一般社団法人 茨城県社会福祉士会

編集 広報事業部

事務局 〒310-0851 茨城県水戸市千波町1918

セキショウ・ウェルビーイング福祉会館内

Tel: 029-244-9030 / Fax: 029-244-9052

ホームページ <http://www.csw-iba.org/>

Eメール [csw-iba@ibaraki.email.ne.jp](mailto:csw-iba@ibaraki.email.ne.jp)

# 新役員のご挨拶

2024年6月～2026年5月までの任期を務める理事は10名です。  
よろしくお願いいたします。①県士会の担当 ②所属 ③所属ブロック

## 竹之内 章代 (たけのうち あきよ)

①会長 ②東北福祉大学総合福祉学部社会福祉学科、特定非営利活動法人スペース空 理事長、  
社会福祉法人茨城県社会福祉協議会会長 ③県北ブロック

会員みなさま、平素より会活動にご理解、ご尽力賜り、誠にありがとうございます。この度、再度会長を拝命いたしました。竹之内章代と申します。任意団体の茨城県社会福祉士会創立以来、会の執行部として活動をしてまいりました。今年で団体の設立30周年を迎え、節目の年となっております。これまでの経緯を踏まえつつ、新たな会活動の段階へと歩んでゆけるよう微力ながらも活動を続けてまいります。

県内においても、少子化の波から福祉人材の確保の課題は大きく、私たちの会にとっても新たな会員の獲得に影響があります。その意味で、今年度から「実習指導者講習」を新規に立ちあげ、県内での実習の受け入れを積極的に行い、茨城に定着して働く若手を発掘できたらと考えております。また、会員の確保と組織率のアップも大きな課題です。身近な地域でのブロック活動を活性化することで、情報発信となり、それらが会員の獲得につながれたらと考えております。各ブロックでの活動への積極的な参加を会員の皆さまにはお願いしたいと思っております。そして、社会福祉士としての使命をいかに果たしていくのかを考えると、一人ひとりの会員の皆さんの不断の努力が、自己研鑽が必要となり、専門職としての質の担保も重要です。それらを支える研修の提供や、認定社会福祉士の排出にも力を入れていきたいと思っております。

私たちの社会福祉士会は、会員一人ひとりがつくる会です。どうぞ皆さんの、ご理解とご協力をお願いいたします。

## 加藤 史子 (かとう ふみこ)

①副会長、研修事業部、虐待対応専門職チーム ②土浦市役所 ③県南ブロック

行政職として土浦市役所教育委員会に勤務し、現在、教育行政に携わっておりますが、学校現場でのソーシャルワーク専門職による支援の必要性を痛感しているところです。県南ブロックでの奇数月の第3土曜日に開催されるブロック会議や年2回の懇親会を楽しみに活動しております。

## 上田 和寿 (うえだ かずとし)

①副会長、ぱあとなあいばらき、虐待対応専門職チーム ②上田社会福祉士事務所 ③県央ブロック

社会福祉士が活躍するフィールドは、極めて多様です。会活動をとおして多くの社会福祉士と出会うことで、視野が広がり自分自身の実践にも活かされる。

私自身、実感として感じているところです。専門職団体の大きな機能の一つだと思います。ぜひ、一緒に社会福祉士の活動を広げていただけると幸いです。

## 小森 弘道 (こもり ひろみち)

①事務局長 ②こもり社会福祉士事務所 ③県央ブロック

引き続き事務局長をさせていただくことになりました小森弘道と申します。水戸で独立型社会福祉士事務所を立ち上げて13年になります。会の活動や会員みなさまの活動を支えていけるよう微力ながら尽力したいと思います。

# 新役員のご挨拶

## 猪瀬 厚 (いのせ あつし)

①組織強化事業部 ②ケアプラン・リッチヒル ③県西ブロック

県西ブロック所属の猪瀬厚と申します。令和5年8月に常総市において相談支援事業所を開設し、相談支援専門員の業務を行っております。組織強化部担当となり各ブロックが活発に活動でき会員の横のつながりが持てるよう微力ながら頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

## 宇留野 高嗣 (うるの たかし)

①相談事業部、広報事業部 ②茨城県発達障害者支援センターCOLORS つくば ③県央ブロック

この度、初めて理事に就任いたしました。最近思うこと。ソーシャルワーカーは、ソーシャルワーカーの皆さんの渦中で成長するという。様々なご縁や繋がりを大切にしたいです。よろしくお願いいたします。

## 酒寄 之枝 (さかより ゆきえ)

①ぱあとなあいばらき ②水戸市北部高齢者支援センター ③県央ブロック

理事4期目を迎え「ぱあとなあ」を担当しています。委託型の地域包括支援センターに勤務し、日々、高齢者の方々の相談業務を行っています。高齢領域に限らず、幅広い知識が求められる中で、社会福祉士会で築くネットワークが大きな力になっています。微力ながら精一杯と努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

## 関 貴教 (せき たかのり)

①相談事業部、広報事業部 ②一般社団法人 makuake ひたち・ファミリーホームいちのいえ ③県北ブロック

今年度から理事に就任しました。慣れないことばかりですが、微力ながら貢献できればと思っています。社会的養護経験者のアフターケア「一般社団法人 makuake ひたち」と小規模住居型児童養育事業の「ファミリーホームいちのいえ」の代表をしています。よろしくお願いいたします。

## 滝口 康子 (たきぐち やすこ)

①研修事業部 ②滝口社会福祉士事務所 ③県央ブロック

今年春より、水戸市で独立型社会福祉士事務所を立ち上げました。日々、学びの連続のため原点に戻ることはしばしばです。研修事業部としましては、互いに学び、高め合う研修の機会をこれからも設けていきたいと考えています。そのためには、皆様からの貴重なご意見を頂きながら共に創って参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

## 横須賀 優 (よこすか まさる)

①組織強化事業部 ②小美玉市社会福祉協議会 ③県央ブロック

県央ブロックより理事(2期目)となりました。担当は組織強化事業部になります。多くの方が事業活動に参加する機会を持ち、会員相互の交流や資質向上につなげて行ければと思います。よろしくお願いいたします。

## ー各ブロックの活動と紹介ー

# 県北ブロック

こんにちは、県北ブロック長の山里です。県北ブロックでは、年に2回の研修会の開催を目標に協力会員の方と不定期に打ち合わせを行っております。今年度は11月に1回目の研修会として茨城キリスト教大学の皆さんと意見交換会を行いました。そのもようは別に報告したいと思います。2回目は1月に県央ブロックの皆さんと合同で行う予定です。また、1回目の交流会を受けて実習指導者等を対象としたエクストラ研修を3月に行ってみてはなどという話も出ており、今年度もまだまだやる気、根気、元気の県北ブロックです。協力会員として活動していただける方、随時募集しております。



ブロック長 組織強化部	山里 和矢	ソーシャルワーク・オフィス山里
副ブロック長	宮本 淳	日立市社会福祉協議会
広報事業部	石井 淳	ひたちの森クラブハピネス
研修事業部	関 貴教	ファミリーホーム いちのいえ
相談事業部	萩谷 亜紀子	ひたち育成会
ぱあとなあ	柏 知子 山本 廣子	総合相談支援事業 I UP 障害者就業・生活支援センターまゆみ
庶務・会計	大田和 裕子	NPO法人スペース空

# 県南ブロック

ブロック長の小須田 真紀（こすだ まさのり）です。今年度よりブロック長を拝命しています。県南ブロックでは、偶数月の第3土曜日に定例会や会員交流会を、さらに、ぱあとなあ成年後見研究会や講師を招いての研修会を行っています。定例会では会員からの話題提供から、参加者同士が意見を交換して知見を深めています。「定期的に」「継続した」活動を続け、会員同士のつながりを大切にしているのが県南ブロックです。

ブロック長	小須田 真紀	下妻市役所	副ブロック長	伊藤 真理子	つくばみらい市社会福祉協議会
広報事業部	岡野 和弘	利根町社会福祉協議会	相談事業部	星 茂行	ほし発達支援オフィス (独立型社会福祉士事務所)
組織強化部	染倉 有希	つくば市役所			
研修事業部	中川 めぐみ	牛久愛和総合病院	ぱあとなあ	藤井 誠 江橋 くるみ	ゆう社会福祉士事務所 江橋社会福祉士事務所
庶務・会計	玉井 早霧 西原 礼子	つくば市 桜地域包括支援センター New balance ARENA	監事	大友 美智子 嶋崎 明香	ソーシャルホットスペース 相談支援事業所エンジェル

# 県西ブロック

県西ブロックでは、およそ4半期に一度を目標に研修・交流事業等を展開。皆さまから得た情報・要望を基に、さまざまなテーマを柔軟に取り入れています。また、一見すると負担感が大きいと思われるがちな事業担当も、チームとして「できる人が・できる時に・できる事を」をモットーに協働。何よりも会員間の「ご縁」が繋がる事を図っています。どうぞ、積極的な参画をよろしくお願いいたします。

ブロック長	大類 勝也	社会福祉法人 筑西市社会福祉協議会
研修事業部	古市 律子	社会医療法人恒貴会 大和クリニック
相談事業部	坂口 節子	合同会社 優志
ぱあとなあ	金川 慶子	株式会社ロングライフ 居宅介護支援事業所ぷらむ五霞



# 鹿行ブロック

鹿行ブロック長を務めさせていただきます、谷山弘子と申します。現在、行方市地域包括支援センターで社会福祉士として勤務しております。昨年度は「スクールソーシャルワーカーの役割と機能について」の研修を開催いたしました。地区内で抱える問題について共有する場になり有意義な会となりました。

今年度の研修会も実りの多い研修にするため尽力させて頂きたいと思っておりますので、今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。



ブロック長	谷山 弘子	行方市地域包括支援センター
組織強化部		
副ブロック長	一柳 浩司	行方市役所 介護福祉課
広報事業部	池田 美友紀	行方市地域包括支援センター
研修事業部		
相談事業部	小林 純生	まると福社会
ぱあとなあ	澤井 喜久枝	

# 県央ブロック

県央ブロック長 飯島（旧鹿志村） 武史。現在、社会福祉士会事務局で、成年後見関係を主に担当しています。

県央ブロックでは、精神障害者とそのご家族等との交流「シェアの場」や、社会福祉士としての愚痴や不満、情報交換の場「おしゃべり会」、その他研修会や懇親会を実施しています。今年度は、1月12日に木下大生氏を招き勉強会を開催します。ブロックの枠を超え、どなたでも参加可能です。ホームページからご参加ください。お待ちしております。

ブロック長	飯島（鹿志村） 武史	茨城県社会福祉士会事務局
組織強化部	荒川 幸子	株式会社メイプルケアプランセンター
広報事業部	久米 亮太	社会福祉法人 茨城補成会
研修事業部	黒田 卓	キッズハウスえくぼひたちなか
相談事業部	稲田 舞	社会福祉法人 梅の里
ぱあとなあ	稲田 佐代子	水戸市 障害福祉課



# 研修のお知らせ



- ・今年度、これから開催する主な研修会をお知らせします。
- なお、各研修会の詳細は、茨城県社会福祉士会ホームページに順次掲載いたします。

## 第32回社会福祉士学会栃木大会 学会発表会

- ・本年6月に開催された社会福祉士学会で発表した、本県士会会員2名による学会発表を行います。
- なお、共通基盤研修と同日開催となりますので、みなさん奮ってご参加ください。
- (1) 高齢者虐待に対する委託型地域包括支援センターの課題  
～委託型地域包括支援センターへのアンケートから～  
○発表者 野村幸代 会員
- (2) 社会福祉の相談援助の分野における成果連動型民間委託契約方式(PFS)導入の実証的研究  
～根拠に基づいた地方自治体の社会福祉政策案{(EBPM)を目指して～  
○発表者 池澤健嗣 会員
- ◆日時：令和7年2月1日(土) 10:00～12:00
- ◆場所：セキショウ・ウエルビーング福祉会館 4階 大研修室
- ◆参加費：無料

## 2024年度 茨城県社会福祉士会 社会福祉士共通基盤研修

- ・社会福祉士がそれぞれの実践現場において、ソーシャルワーカーとしての役割と機能を果たすために、研鑽を積み重ねるために必要な6領域(権利擁護、生活構造、相談援助、地域支援、福祉経営、実践研修)のうち、「地域支援」について講義と演習を行います。
- ◆テーマ「地域共生社会の実現におけたソーシャルワーク」  
講師 東北福祉大学総合福祉学部社会福祉学科 准教授 大石剛史 先生
- ◆日時：令和7年2月1日(土) 13:30～16:30 (講義)  
2月2日(日) 9:30～12:30 (演習)
- ◆場所：セキショウ・ウエルビーング福祉会館 4階 大研修室
- ◆参加費：会員 6,000円(1日参加の方は、4,000円)

## 2024年度 社会福祉士実習指導者講習会

- ・2022年度からの実習指導の新カリキュラムに対応した講習会を開催します。
- なお、受講にあたっては対象要件があります。
- ◆日時・場所：令和7年2月23日(日) 9:45～18:00 (茨城県開発公社ビル)  
令和7年2月24日(月) 9:00～17:15 (セキショウ・ウエルビーング福祉会館)
- ◆受講料：会 員 10,000円  
その他の社会福祉士 15,000円
- ◆対象者・資格：
  - ・社会福祉士であること
  - ・社会福祉士養成課程における相談援助実習を行う実施施設に所属していること
  - ・現在、実習指導を行っているまたは、今後、実習指導を行う予定のある者



## ◆ぱあとなあいらき からのお知らせ

令和7年4月から、家庭裁判所への報告様式が変わります。

成年後見制度には、財産管理と身上保護の二つの役割がありますが、これまでは、財産管理面が重視される傾向がありました。しかし、本人の権利擁護のためには身上保護についても同様に重要であり、社会福祉士会としては、その重要性を発信するとともに、実際の後見事務においても身上保護を大切にしてきました。

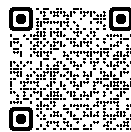
今回の新しい報告様式においては、身上保護面に関する事務内容をより詳細に報告することが求められていますし、意思決定支援についての取り組みも記載が求められるような様式になっています。

社会福祉士としては成年後見の実務だけでなく、日頃の業務においても権利擁護や意思決定支援を重視して取り組んできたところではありますが、今後はますます、より広く地域に権利擁護の重要性を発信し、地域づくりの視点を持つことが重要であると考えます。



### ◎最新情報は、ホームページからチェック

- ・研修情報、お知らせ、ブロック情報などお見逃しのないように。
- ・ブックマーク&ショートカットを作成
- ・QRコードからピピッとアクセス →→→



### -編集担当の雑感-

今年度から NEWS の編集を担当させていただいています。編集といっても素人同然ですが、任されたからには「何事も経験」と自分に言い聞かせながら、生きる知恵や糧となる『引き出し』とその中身を増やしているところです。

編集作業を通して、県内の社会福祉士の皆さんの語りや文章に触れる機会が増えました。どの言葉にも、現場での実践からにじみ出るリアルさや深みがあり、それが私自身の羅針盤のように感じられます。迷ったとき、ふとした一言が光明となることもあります。編集担当であると同時に、読者としても会報に励まされ、支えられていると実感しています。そんなふうに、皆さんから自分自身が多くを学び、支えられていることに感謝しつつ、これからも皆さんとのお縁や繋がりを大切にしていきたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします。(宇留野)

# 事務局からのお知らせ



## ■会員情報の更新にご協力ください

会員情報に変更がありましたら、ホームページ専用フォームよりご報告ください。  
(下のQRコードからアクセスできます)。  
郵便物を確実にお届けするため、特に住所の変更につきましては、速やかにご報告くださいますようお願いいたします。

会員現況報告フォームはこちら →→→



## ■入会のおすすめについて

皆様の職場やお知り合いで、試験に合格された方や資格をお持ちで未入会の方がいらっしゃいましたら、ぜひ入会のご案内をお願いいたします。

※若年層の入会促進を図るため、令和4年4月1日から30歳以下の新入会員の入会金(5,000円)と初年度年会費(13,000円)を免除しております。  
この機会にぜひ、ご入会ください。



## ■茨城県社会福祉士会 LINE 公式アカウント

当会ではLINE公式アカウントを開設しています。  
研修や最新情報の案内が届きますので、  
このQRコードよりぜひご登録ください↓↓↓



## <茨城県社会福祉士会会員数>

772名 入会率 14.84% (令和6年10月末現在)